

常磐バイパス（いわき市泉町）4車線化の整備効果 ～4車線化により円滑な走行と安全な交通環境を実現～

国道6号常磐バイパスは、平成12年の全線2車線開通から順次4車線化の事業を進めており、平成27年3月16日に泉町下川から泉町滝尻までの1.3km区間を4車線化しております。

今回、4車線化後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

※今回の整備効果は完成後3ヶ月経過後の交通状況等を取りまとめたものです。

【主な整備効果】

○4車線化により円滑な走行と安全な交通環境を実現

- ボトルネック箇所が解消され、朝夕ピーク時間帯の走行速度が大幅に向上。
29km～31km/h(H26) ⇒ 47km～58km/h(H27)に向上
- ボトルネック箇所（4車線⇒2車線）で発生していた無理な割り込みが解消し、交通安全も向上
ボトルネック箇所が発生していた無理な割り込みがなくなり、ヒヤリとすることが解消

○通勤に利用されている方や企業者から高評価

- 朝の通勤における定時性を確保。渋滞緩和により、業務の効率化を実現
- 速度改善の効果を試算（燃費効率が3割向上）

（発表記者会等）：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、福島建設工業新聞

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

TEL 0246-23-2211（代表）

副所長 ちば 千葉 とみひこ 富彦 （内線204）

調査課長 いたがき 板垣 ひろみ 浩美 （内線451）

